



祝!「くにさきの鬼文化」が日本遺産 国東市の文化財関連で、2つの

認定&「文殊耶馬」が国指定名勝へ 嬉しいニュースがありました



2 今秋「文殊耶馬」が国の名勝に指定されます



6月15日、国の文化審議会が文部科学大臣に、国東町大恩寺の文殊仙寺境内を中心とした文殊耶馬を、国名勝に指定するよう答申しました。

国名勝の指定に向けて答申された要因は、県内でもまれな常緑樹のウラジロガシやサカキなどの原生林や奇岩・岩峰群があること。さらに、18世紀初頭の古絵図「紙本著色文殊仙寺境内図」(県指定有形文化財)が残されており、その風致景観の素晴らしさが近世より認識されていた事実が高く評価されたものです。



くにさきの先人達も、文殊耶馬の景観が大事だと思い、ずっと守ってきたんだね。



国指定名勝とは

「わが国のすぐれた国土美として欠くことのできないもの」と定義付けられています。山岳や瀑布、岩石などに見られる特異な自然現象による景勝「自然名勝」と、庭園や寺院などに見られる人文的・芸術的視点から創出される景勝「人文名勝」に分類されます。

今回答申された文殊耶馬が国名勝に指定されると国東市初、県内では6件目となるよ。



これまでの経過

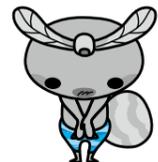
- 平成30年1月 大分県教育委員会経由で文化庁へ意見具申
- 平成30年6月 文化審議会より文部科学大臣へ名勝にふさわしいとの答申
- 平成30年10月頃 官報告示により、指定される予定

今はまだ答申中なので、10月に指定されるのを楽しみに待とうね!



今後の取り組み

文殊仙寺や地元の方、有識者を交えて景観を後世まで守っていくため、保存活用計画を策定していきます。また、文殊仙寺に残されていた絵図をもとに江戸時代の古参道を復元する事業を、平成27年度から取り組んでおり、今年度完成します。古絵図にも描かれた古参道も散策できますので、ぜひご利用ください。



市民の皆さまへ

六郷満山開山1300年の記念すべき年に、先人から受け継がれてきた文化や景勝地が、国東に住む私達だけのものではなく、国の財産であることが認められました。「名勝」に触れて、その存在意義を確かめてください。

1 六郷満山で育まれてきた「鬼の文化」が日本遺産に認定

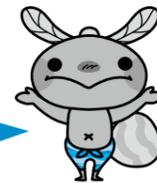
県内3例目



5月24日、国東市と豊後高田市が共同で提案した『鬼が仏になった里「くにさき」』のストーリーが、日本遺産に認定されました。

日本遺産に認定される要因となったのは、六郷満山の寺院で行われてきた修正鬼会の鬼が、災厄を払う良い鬼として人々の厚い信仰を受け続けてきたからです。

特に成仏寺と岩戸寺の修正鬼会は、鬼が地域を巡る風習があり、地域との密接なつながりがあるんだよ。



日本遺産とは

2015年度に魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的に設立されました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに100件程度の認定を目指しているよ。これまでに67件が認定されたよ。



これまでの経過

- 平成29年5月 国東市と豊後高田市で申請するテーマを「鬼」に決定
- 平成30年1月 申請書を文化庁に提出
- 平成30年5月 文化庁が日本遺産に認定

国東市と豊後高田市は、これまで「神仏習合文化」や「峯入り」で申請してきたんだよ。



日本遺産に認定された効果

地域が主体的に日本遺産をアピールするため、平成30年度から平成32年度まで支援を受けることができます。

今後の取り組み

国東市と豊後高田市の観光・文化関係団体で「六郷満山日本遺産推進協議会」を7月中に結成し、5つの事業に取り組んでいきます。

- ①情報発信事業 … ホームページや映像などの制作
- ②人材育成事業 … ガイドなどの育成
- ③普及啓発事業 … シンポジウムや市内の子ども達への出前講座
- ④調査研究事業 … 情報発信や普及啓発用に国内外を対象としたマーケティング調査
- ⑤公開活用整備事業 … 案内板、説明板などの設置

【問合先】文化財課 ☎0978-72-2677